

事業評価書

継続事業名	白老弾薬支処関連公共用施設（消防に関する施設：高規格救急自動車更新）整備事業						
補助事業者名	白老町						
事業主体	白老町						
実施場所	白老町消防本部（白老町字石山20-24）						
継続事業の目的	更新対象となる高規格救急自動車は、平成17年の導入から10年以上が経過しており、走行距離も19万kmを超え、老朽化による修繕等が頻発し、出動態勢に支障を来している。このため、車両の更新を行い、町民の安心安全な生活の確保及び救急救命活動の向上に資する環境を整備する。						
継続事業の内容	高規格救急自動車更新 1台						
継続事業の始期及び終期	平成29年度～平成30年度						
継続事業に要した経費の総額及び交付金充当額	継続事業に要した経費の総額			交付金充当額			
	32,184,000円			30,162,000円			
基金の造成及び処分	基金造成額（A）					基金処分額（B）	基金残額（A）-（B）
	交付金	市町村費等	その他	運用益	計		
	30,162,000	0	0	2,668	30,164,668	30,164,668	0
継続事業の成果及び評価	<p>本事業で高規格救急自動車を更新したことにより、迅速な出動体制を確保することができている。</p> <p>また、定期的な車両点検により適切に維持されていることを確認しており、救急隊員からは「車両の静粛性、活動空間が向上し、隊員間の連携や救急救命活動が向上」の評価があり、町民に対して安心安全を確保する万全な体制を整備することができた。</p> <p>なお、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を以下に記載し、地域住民への周知を図った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 車両への表記 2) 町ホームページへの掲載 3) 広報誌への掲載 						
継続事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	白老弾薬支処関連特定事業（教育、スポーツ文化に関する事業：桜ヶ丘公園町営野球場スコアボードカウント表示板改修）						
補助事業者名	白老町						
実施場所	桜ヶ丘公園町営野球場（北海道白老郡白老町緑丘4丁目）						
補助事業の成果の目標	現在、老朽化によりランプが破損しているスコアボードのカウント表示板を改修することで、球場利用者が快適に競技を行うことのできる環境の整備を図る。						
補助事業の内容	野球場カウント表示板改修						
補助事業の始期及び終期	平成30年11月～平成31年3月						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度 予定	令和2年度 予定	令和3年度 予定	計
	事業費	円 0	円 4,838,400	円 0	円 0	円 0	円 4,838,400
	交付金額	0	4,600,000	0	0	0	4,600,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	改修工事完了後の利用者の聞き取りで、「スコアボードでカウントが確認出来るようになった」「カウント表示板の操作が簡単になった」との声が聞かれた。 また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を町ホームページ、町広報に掲載し町民への周知を図った。						
事業の改善措置及び今後の対応	球場利用者が快適に競技を行うことができる環境を維持する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	白老弾薬支処関連公共用施設（消防に関する施設：消防用資器材購入事業）整備事業						
補助事業者名	白老町						
実施場所	白老町消防本部（白老町字石山20-24）						
補助事業の成果の目標	<p>消防活動において使用している消防用ホースは経年劣化により令和3年度までに現在の約6割が廃棄の対象となっている。また、空気式救助マットは40年、救命索発射銃は30年購入時より経過しており、修理部品等の調達が困難である事から使用不能となった。さらに、当町は現在夜間での災害活動において必要な照明装置を保有していないことから、夜間での活動に支障を及ぼす恐れがある。</p> <p>このため、消防用資器材を更新し、円滑な消防・災害活動の体制を確保することにより住民の安心、安全な生活の維持を図る。</p>						
補助事業の内容	<p>消防用ホース（65mm×20本、50mm×20本） 空気式救助マット、救命索発射銃、LEDバルーンライト、発電機付投光器</p>						
補助事業の始期及び終期	<p>全体：平成28年度～令和2年度 本年度：平成31年1月～平成31年3月</p>						
事業費及び交付金額		平成29年度 まで	平成30年度	令和元年度 予定	令和2年度 予定	令和3年度 予定	計
	事業費	円 4,923,720	円 5,292,200	円 1,870,000	円 1,870,000	円 0	円 16,514,112
	交付金額	4,000,000	5,408,000	1,600,000	1,600,000	0	14,208,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業実施後の取扱訓練においても、投光器は夜間の視界を確保するには大変有効であることを確認し、また職員の聞き取りにおいても空気式救助マットや救命索発射銃の整備により、救助の幅が広がったといった評価を得られ、住民の安心、安全な生活の維持に資する環境の整備が図られた。</p> <p>なお、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を町広報誌及び町ホームページに掲載し、町民に周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	<p>今後も住民の安心、安全を確保するため継続的に消防用資器材の購入を進めていく。</p>						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	<p>無</p>						

事業評価書

補助事業名	白老弾薬支処関連公共用施設（消防に関する施設：消防団資器材購入）整備事業 白老弾薬支処関連公共用施設（消防に関する施設：消防団資器材購入その2）整備事業																						
補助事業者名	白老町																						
実施場所	白老町消防団 萩野分団（白老町字北吉原86番地19） 白老町消防団 竹浦分団（白老町字竹浦616番地39）																						
補助事業の成果の目標	地域防災力の中核となる消防団の安全確保及び大規模災害時の活動に対応するため、投光器等の救助用資機材の充実強化を図り、円滑な消防・災害活動の体制を確保することにより住民の安心、安全な生活の維持を図る。																						
補助事業の内容	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%;">投光器</td> <td style="width: 16.5%;">2セット</td> <td style="width: 33%;">携帯型破壊工具</td> <td style="width: 16.5%;">2セット</td> </tr> <tr> <td>手動式コンビツール</td> <td>2台</td> <td>エンジンカッター</td> <td>2台</td> </tr> <tr> <td>エンジンチェンソー</td> <td>2台</td> <td>防火衣</td> <td>8セット</td> </tr> <tr> <td>拡声器</td> <td>2台</td> <td>活動用携帯照明器具</td> <td>8台</td> </tr> </table>							投光器	2セット	携帯型破壊工具	2セット	手動式コンビツール	2台	エンジンカッター	2台	エンジンチェンソー	2台	防火衣	8セット	拡声器	2台	活動用携帯照明器具	8台
投光器	2セット	携帯型破壊工具	2セット																				
手動式コンビツール	2台	エンジンカッター	2台																				
エンジンチェンソー	2台	防火衣	8セット																				
拡声器	2台	活動用携帯照明器具	8台																				
補助事業の始期及び終期	全 体：平成29年度～令和2年度 本年度：平成30年10月～平成31年3月																						
事業費及び交付金額		平成29年度	平成30年度	令和元年度 予定	令和2年度 予定	令和3年度	計																
	事業費	円 2,710,800	円 5,421,600	円 2,776,680	円 2,776,680	円 0	円 13,685,760																
	交付金額	2,500,000	5,000,000	2,500,000	2,500,000	0	12,500,000																
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の実施後、団員からは「大型投光器が整備されたことで夜間の活動がしやすくなった」「新たな救助資器材が配備され活動の幅が広がった」といった評価が得られ、住民の安心、安全な生活の維持に資する環境の整備が図られた。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を町広報誌及び町ホームページに掲載し、周辺住民に周知を図った。</p>																						
事業の改善措置及び今後の対応	地域住民の安全に資するよう、消防団資器材の充実強化を推進するとともに、引き続き災害救助技術の習得に努める。																						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無																						